

# 一般質問



鈴木貴美子（公明党）  
ヤングケアラー支援  
の強化について

**問** 大人に代わり、日常的に家族の介護や世話を担う「ヤングケアラー」に関して、今年4月に小学生を対象に行った調査では、約15人に1人に当たる6.5%が世話をする家族が「いる」と回答。「きょうだい」が71%と最も多く、健康や学業への影響が強く懸念される。政府は22年度から3年間を「集中取組期間」と定め、自治体に対する具体的支援を示した。まずは実態調査を行い、誰一人取り残さない寄り添った支援を行うべきではないか。

**答** 本市の実態調査の実施方法について、前向きに検討していきます。

**問** 市長の所見は。

**答** まずは相談体制と支援の輪を、具体的に、早急に考えていきます。

今定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ議長に対して質問事項を通告し、執行部は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

**問** 世界情勢の不安定により、原油をはじめ食材料や日用品の値上げが相次いでいる。交付金を活用した本市の支援は。

**答** 水道料金の減額や、プレミアム付商品券発行事業を実施していきます。

**問** 今後については。

**答** 子育て世帯負担軽減策や、地域経済活性化と生活者支援を目的とした施策について早急に検討していきます。

**問** AEDについて

**答** 傷病者が女性の場合、プライバシーに配慮するために、AEDに三角巾等を配備するのはいかがか。

**問** AEDに三角巾等を配備するなどにより、躊躇なくAEDを使用してもらえる方策を検討していきます。

※ほかに、難病者見舞金制度、農業委員会事務局に係る農地転用許可後の適正な管理体制について質問。



勝浦 敦（無会派）  
物価高騰に対する施策について

**問** コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻、円安の影響等で様々な物価が高騰し、暮らしにおける負担や不安感が増している。

**答** 5月には文科省より「学校給食における物価高騰等による保護者の負担軽減に向けた自治体の取り組みを強力に促し、必要な支援を迅速に行うこと」を旨とする通知がなされた。

週れば平成28年6月、給食無償化に向けた段階的措置として、多子世帯の給食無償化や補助についてご提案させて頂いた。

その後、船橋由貴子議員、鈴木貴美子議員、森伊久磨前議員など、多くの議員から給食無償化への提案がなされた経緯も踏まえ、学校給食の物価高騰対策及び質や量の確保について教育長の所感を問う。

**問** 現在の物価高騰は、命をも脅かすほど生活を直撃しており、市民や事業者への迅速な支援も長期的な支援も必要不可欠となる。支援が本当に必要な人々に行き届いているかという観点で最も大切だと考えるが、物価高騰対策について山口市長の考えを伺う。

**答** まずは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）を活用し、今回の質問やこれまでの議論に即した形で、できる限り迅速かつ生活者目線での対応を図っていきます。



榎本 菜保（日本共産党）  
山口新市長の市政への基本姿勢について

**問** 根強く残る男女格差の解消のため、議会や組織の管理職など、意思決定や計画立案の場に、女性の参加が大事だということでは世界的にはもはや常識。国連は2030年に男女半々の割合を目指している。女性管理職の割合を増やし、声を反映させることが、男性も女性も働きやすい環境を作ることにつながると思うが、認識は。

**答** 気持ちは一緒ですが、女性を何割にするということではなく、適材適所で行っていきます。

**問** 気候変動への取り組みとして、担当課だけが頑張るのではなく、全庁的に地球温暖化防止の観点をベースにした施策を行うってほしいかがか。

**答** これは暮らしそのものの問題。全庁的にそういう方向でしっかり施策を打っていきます。

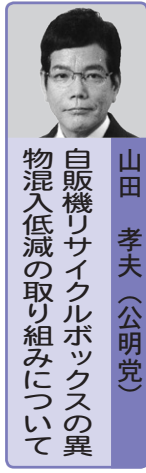
**高齢者や子どもも安心・安全な歩道や施設の整備を**

**問** 市道7号線(中学校通り)の歩道は雨水構の蓋がそのまま歩道となっており、整備が近隣住民の長年の要望。蓮田駅西口通線整備と並行して計画的に進めては。

**答** まずは蓮田駅西口通線の早期完成。ただ、杖やベビーカーがはまらない程度に、危ないところはなんとか補修したいと考えています。

**問** 市長へ問う。予防接種や乳幼児健診等で多くの市民が利用する保健センターの床が、シートがずれて養生テープで補修されたままだったり、一部隆起してつまづきやすくなっている危険、との市民からの声があった。速やかに改修すべきではないか。

**答** 早急に判断すると部長が申しているため、それに合わせた予算措置を考えています。



山田 孝夫(公明党)  
自販機リサイクルボックスの異物混入低減の取り組みについて

**問** 異物混入低減の取り組みは。

**答** 不法投棄を防止するため、啓発看板の設置や、不法投棄重点地域へのパトロールを行っています。持続可能な循環型社会を構築するためには、市民、事業者、並びに市の協働による取り組みを推進することが必要であると考えています。



公共施設男子トイレに設置のサニタリーボックス

**尿漏れパッドについて**

**問** 男性用個室トイレへのサニタリーボックスの設置状況は。

**答** 蓮田駅西口行政センター、勤労青年ホーム、コミュニティセンター等の9つの施設に設置しています。

**問** サニタリーボックスの本庁舎、パルシー、ハストピア等への設置拡大の考えは。

**答** 尿漏れパッドを使用している男性の外出時の悩みを軽減できるよう、サニタリーボックスを市内公共施設の男性用個室トイレに設置していきたいと考えています。

**英語教育について**

**問** オンラインによる海外体験語学研修の実施はいかがか。

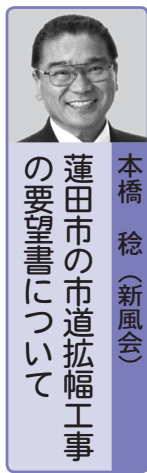
**答** オーストラリアへの語学研修がコロナ禍で3年間、実施できていません。オンラインでの交流を検討しており、現地のコーディネーターを通して調整中です。

**問** 市内中学生の英語検定試験受験状況は。

**答** 市内中学生で英語検定の受験経験がある人数は421名で約28%です。(1年生102名、2年生106名、3年生213名)

**問** 英語検定受験料の助成の考えは。

**答** 対象学年、対象受験級、回数等について、前向きに具体的に検討していきます。



本橋 稔(新風会)  
蓮田市の市道拡幅工事の要望書について

**問** 現在の状況は。

**答** 道路課が取りまとめている平成12年度から令和3年度までにいただいた69件の要望書のうち、未実施は30件です。

**問** 現状把握はしているのか。

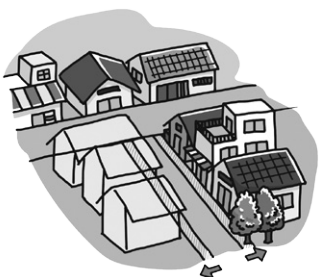
**答** 要望書は市長に提出されるものですが、その後、道路課においても現場確認をし、沿線の状況を把握しています。

**問** 実施できない理由は何なのか。

**答** 生活道路の拡幅要望がかなりの路線数となっており、現在、手掛けている大きな路線について、早期完成を目指しているところですが、新規要望にはなかなか着手することが難しい状況となっています。

**問** 受付順ではなく、状況(交通量、危険度、通勤通学路の有無、農作業等々色々な視点から拡幅工事が緊急に必要であるかないか)を十分把握し、優先順位の検討をしていただきたいと思うが、今後の対応は。

**答** 要望をいただいている関係者の皆様にはたいへんご不便をおかけしておりますが、現在、手掛けていく多くの道路改良をまずは進めていきたいと考えています。道路を整備する場合、重要度、優先度の評価をするというのは難しいことと考えていますが、新規事業に着手する際には、それぞれの路線の交通量、危険性、通学路の有無等、様々な点を考慮しながら今後道路改良事業に取り組んでいきます。







高橋健一郎（無会派）  
市道1472号線について

**問** 東埼玉病院の敷地内を通る新設道路の市道1472号線の供用開始時期及びバス路線延伸の進捗状況を伺う。

**答** 東埼玉病院と調整し、7月下旬頃を目標に暫定供用開始に向けた準備を進めます。計画地にバス転回場を整備するため東埼玉病院との交渉を継続します。

公共下水道事業について

**問** 市道1472号線に埋設されている本下水道を今後、公共下水道未整備の江ヶ崎地区周辺に接続する予定は。また公共下水道区域拡大の課題を伺う。

**答** 平成30年3月議会において3地域から公共下水道早期実現等についての請願書が提出され、採択されたことを非常に重く受け止めています。しかし公共下水道事業における国、県の事業認可は、以前に比較して格段に難しくなり、市街化調整区域の新規整備は非常に困難と思われまます。

地下鉄7号線延伸について

**問** 市のメリットと課題は。

**答** JR宇都宮線との結節による鉄道ネットワークの強化、都心までのアクセス等の利便性向上などのメリットがあります。また、蓮田市までの事業化による多額の経費がかかる事が課題です。

※ほかに、パークアンドライドとサイクルアンドライドについて質問。



山田慎太郎（はすだ政和会）  
公園の利用に関して

**問** 利用者からの要望状況は。

**答** 要望としては、公園の定期的な除草や、平日に窓口での申請が困難な方から、受付に関する手続きの簡略化や、電子化について要望をいただいています。

**問** 手続きの簡略化及び電子化について、より具体的な考えは。

**答** 公園の利用申請については、市役所窓口での申請を原則としていますが、遠方の方や仕事等で開庁日の来庁が困難な方を対象として、電子メールによる申請も受け付けています。しかし、この手続きにおいても、許可証受領のため、後日、来庁していただく必要があることから、簡素化の要望をいただいています。

公園利用者の利便性の向上のため、電子メールでのやり取りのみで手続きが完了するように、今後、検討してまいります。

SDGs項目ゼロカーボンシティに関して

**問** 今後の取り組みは。

**答** カーボンニュートラルを推進していくためには、蓮田市第2次環境基本計画に「計画の主体と役割」として位置づけられたとおり、行政だけではなく、市民、事業者及び市の三者が主体となり、互いに協力し、連携することが重要なこととなります。市としては、主体となる三者が、協力と連携のもとに、それぞれの役割に

た取り組みを実践できるよう、計画の推進についての研究及び検討を重ねてまいります。

市内事業者育成に関して

**問** 市内事業者育成に関して、入札に関する今後の取り組みは。

**答** 透明で競争性が確保できることが前提ですが、市内事業者については、入札参加の機会を確保してまいります。

※ほかに、コロナ禍後のシテイセールスに関して質問。

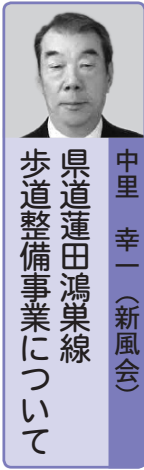
## 蓮田市議会 議会中継について

■議会中継について

本会議は、インターネットによるライブ中継ならびに録画映像の視聴が可能です。



議会中継アドレス [https://smart.discussvision.net/smart/tenant/hasuda/WebView/rd/council\\_1.html](https://smart.discussvision.net/smart/tenant/hasuda/WebView/rd/council_1.html)



中里 幸一（新風会）  
県道蓮田鴻巣線  
歩道整備事業について

**問** 歩道整備事業の蓮田市への委託内容及び整備区間及び内容は。

**答** 事務委託に関する協定書に基づき、用地事務を受託しています。JR第一岩槻踏切から蓮田駅東口黒浜線までの約195mの区間に両側幅員2.5mの歩道を整備するものです。

**問** 協定書では毎年度ごとの契約になっているが、事業の進捗に影響は出ないか。

**答** 用地買収計画を立て、計画に基づき契約見込みに応じた事業費を、委託料として契約を結んでいます。

**問** 現在の進捗状況は。

**答** 埼玉県の事業完了予定は、おおむね10年を当初の目標としてしていると聞いています。買収済の画地は、令和3年度迄で7画地で面積比では約29%です。

**問** 事業の進捗により予算に不足が生じた場合の対応は。

**答** 契約時期を調整し、補正予算の計上や次年度予算への計上を県と検討します。

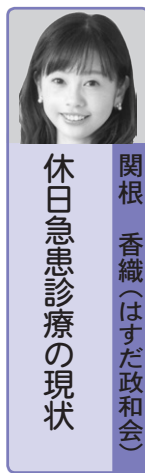
**問** 歩道整備時に電線の地中化の可能性と負担金は。

**答** 県が令和3年度に蓮田鴻巣線無電柱化推進工事の設計業務委託を発注し、関係機関と調整を図りながら検討を進めています。蓮田市の負担金が生じるということとは、今のところ聞いていません。

**問** 第一岩槻踏切の安全対策は。

**答** 県が歩道整備事業と並行して進めています。令和元年に踏切道改良検討業務委託を発注し、今年度に補償調査や、歩道設置に関する検討業務を発注すると聞いています。

**問** ※ほかに、歩道整備に関係する蓮田駅東口周辺地区地区計画の区画道路についても、接続点等の計画や今後の考えを質問。



関根 香織（ほすだ政和会）  
休日急患診療の現状

**問** 市が考える休日急患診療の課題は。

**答** 休日、夜間の小児救急体制の構築について、市民から要望があることを認識していますが、市単独で対応することは難しい状況です。

**問** 蓮田市で子育てをする方のために、安心して近場で医療を受けられる体制を構築して欲しい。

**答** 現在、市では、行政区を越えて市外の医療機関にも小児の休日急患診療をお願いしているが、市内医療機関に小児科医を派遣し、その費用を市が補助する体制を検討してはどうか。

**問** 全国的に小児科医が不足しているため、市単独で休日、夜間に医師を配置することが難しい状況です。

**問** 病児・病後児保育の実施に向けた取り組み

**問** 市では、病後児保育の実施に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施が延期となった。現在の検討状況はどうか。

**答** 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、事業実施に向けて事業者や医療機関との協議調整を行います。

**問** 「病児・病後児保育」の実施について、市長の構想はどうか。

**答** 事業を実施するため、小児科のある医療機関と折衝していきます。

**問** ヤングケアラーに対する支援体制

**問** ヤングケアラーに対する支援を具体的に進めるためには、市の方針を明確にする必要がある。他市では、支援条例の施行、実態調査、支援体制の構築を進める動きがあるが、同様の取り組みを検討されてはどうか。

**答** 他市での支援条例の制定については、施策を検討する上で参考となる事例であります。今後、調査・研究を進めていきます。

**問** ※ほかに、蓮田南中学校校舎の改修や民生委員・児童委員の活動について質問。

### 議会の傍聴ができます

市議会の本会議は、一般に公開されていて、傍聴することができます。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

### 車いすでの傍聴ができます

市議会の議場には、車いす用の傍聴スペースが用意してあります。



### 手話通訳者について

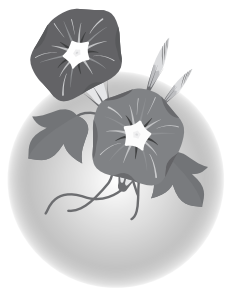
議会を傍聴する際に、手話通訳者を希望される場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。



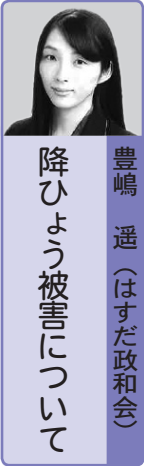
### 議会中継について

本会議は、インターネットによるライブ中継並びに録画映像の視聴が可能です。

※市議会では新型コロナウイルス感染症防止のため、傍聴に際してはマスク着用及び手指の消毒の徹底をお願いするとともに、一部の傍聴席を使用禁止にするなどの対策に努めています。







豊嶋 遥 (はずだ政和会)

### 降ひよう被害について

**問** 農作物の降ひよう被害に対してどのような支援を実施するか。

**答** 被害報告のあった農作物を対象に、病害虫防除用の農薬購入費や肥料購入費等の補助を検討しています。



降ひよう被害にあった梨

**問** 多目的防災網の設置に関して、補助金額の増額を検討してはいいかがか。

**答** 多目的防災網の導入や更新に対する補助について、生産農家の意見を聴きながら検討していきます。

### 生理用品について

**問** 生理用品の無料配布は令和4年度も実施するか。

**答** 令和4年度も昨年度と同様の内容で実施します。(蓮田市役所や蓮田駅西口行政センター、ハストピアなど市内8か所で配布)

**問** 生理用品を公共施設のトイレへ配備ができないか。

**答** いたずらや生理用品の管理などの課題に留意しつつ、他市町村の状況も見ながら、公共施設のトイレの配備も含め配布方法を研究していきます。

**問** 公共施設のトイレへ配備が実現できている自治体で利用している、生理用品無料配布システム「O i T r」の導入を検討してはいいかがか。

**答** 在庫の状況、他市町村の状況をみながら研究していきます。

**問** \*O i T r (オイテル) : 個室トイレに生理用ナプキンを常備して無料提供するシステム。

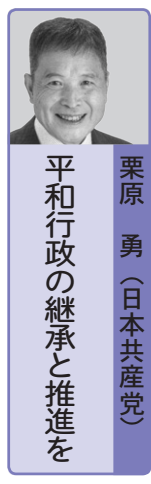
**答** 市内小・中学校の生理用品の配備状況は、

**問** 現在は、災害用備蓄・寄附等の生理用品を保健室に保管しています。

**答** 生理用品をトイレの個室へ配備はできないか。

**問** 適切な対策を講じて、トイレの個室へ配備できるよう、各学校へ働きかけしていきます。

※ほかに、り災証明書、犬・猫マイクロチップ装着等の義務化への対応について質問。



### 平和行政の継承と推進を

**問** 憲法9条の立場に立った平和行政を求める。日本国憲法前文及び9条に対する思いは。

**答** 蓮田市平和都市宣言の中にもあるが、蓮田市においても多数の戦争犠牲者を出し、大きな被害を受けたことは、永久に忘れません。平和憲法の理念に基づき、不断の努力をもって平和で安全な蓮田市が築けるよう努めます。

**問** 平和への願いが込められた標語「子へ孫へ たしかな平和ひきつこう」が書かれた懸垂幕の常時掲揚を求める。

**答** 懸垂幕を庁舎敷地内に掲げ普及に取り組む、今後、蓮田駅東口と西口にも年間を通して掲げ、平和都市宣言の普及に努めます。

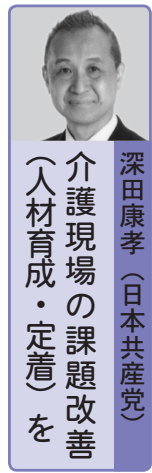
**問** 蓮田市は、2010年に広島市、長崎市が呼びかけている平和首長会議に加盟した。副会長の田上長崎市長は、核兵器禁止条約締結国会議に参加し、次のようにスピーチした。「被爆者は、核兵器禁止条約こそ核兵器のない世界へと照らす希望の光である」と称え、その誕生を大いに喜んだ。『核兵器による威嚇』、『核兵器使用』の危機にさらされている今だからこそ、この条約の意義が非常に大きくなっていると感じる」と。平和首長会議の目的は何か。

**答** 核兵器廃絶の市民意識を喚起するとともに、飢餓・貧困等の解消、環境保護、さらに世界恒久平和の実現に寄与することです。

**問** 中野前市長の平和行政継承を求めらる。

**答** 引き続き、日本国憲法の理念のもと、推進します。

※ほかに、子育て支援としての学校給食無料化について質問。



### 介護現場の課題改善(人材育成・定着)を

**問** 介護現場の課題の本質は、職員のスキル不足ではなくて、新人職員の実地研修すらも十分に行えないほどの人員不足である。私が視察に行った武蔵野市では、「武蔵野市にマッチした地域福祉サービス提供」に向けた取り組みをしてきた。こうした武蔵野市行政のポリシーを受け継いだ形で、地域包括ケア人材育成センターが開設された。このセンターでは、人材育成にとどまらず人材定着の為に『介護従事者の悩み相談室』の設置やパンフレットの全戸配布等きめの細かい対応で実績を残してきた。市長の政策の一つである「誰もがいきいきと暮らせる福祉の充実」というところにも共鳴すると思われる。武蔵野市の先進事例に学び『介護従事者の悩み相談室』設置を求めるが、市長の考えは。

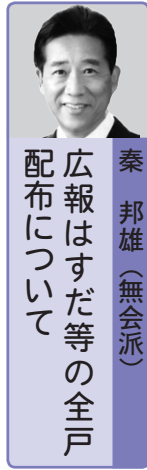
※質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものを掲載しております。

**問** 大事なことは、利用者が不利益を被ることなく暮らしてもらうことです。市内の事業者連絡会を通して課題改善への取り組みを聞きながら対応していければと考えています。また、介護従事者の悩み相談窓口設置は、当局として出来ることなので早急に検討していきます。

**地域敬老会について**

**問** 今年度で終了となった地域敬老会の今後の取り組みを市長に問う。

**答** 大切なことは市民のみなさんがいつまでもいきいきと暮らせることです。高齢者を敬う心を持って敬老事業を続けていきます。クラブ・サークル活動も出来る限りサポートしていきます。



秦 邦雄（無党派）  
広報はすだ等の全戸配布について

**問** 全戸配布は、私の令和2年6月議会での一般質問をきっかけに市での検討が始まり、今年4月からシルバー人材センターによる配布が開始されたもの。センターの配布状況は。

**答** 各地区のリーダー10人を含め90人体制により毎月5日間で配布しています。世帯数に対する配布部数の割合（配布率）は、4月が91%、5月が92%となっています。

**問** 配布率の評価は。

**答** センターが十分な準備をしたことで順調な滑り出しとなり、世帯分離

を考えると、実際の配布率より高くなる可能性があり、良好な値であると考えます。

**問** なぜもっと以前から全戸配布できなかったのか。

**答** これまでの様々な検討の結果として現在があると認識しています。過去を変えることはできませんが、今までの期間は、今年度全世帯配布を開始するために必要な時間であったと考えます。

**問** 大変な配布作業を担うセンターの方々のやりがいにも繋がるような広報誌であるべきで、そのための市の責務は重いと考える。紙面等の工夫が必要で、例えば最終ページに月間スケジュールを掲載するのはどうか。

**答** 多くの世代に親しまれるよう、内容の充実等見直しを行い、月間スケジュールについては、その中で参考とさせていただきます。

**学校給食における食材費の高騰について**

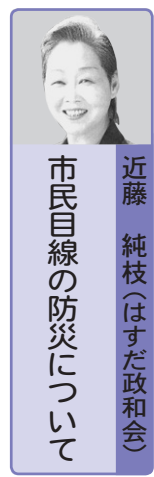
**問** 現時点での影響は。

**答** 市は主食として米の回数が多いことから、小麦粉等の価格高騰の影響が少なく、直ちに給食費を値上げする状況には至っていません。

**問** 今後さらに高騰することが想定されることから、少しでも早く対策を講じることが必要では。

**答** 速やかに対応できるよう努力していきます。

※ほかに、コロナワクチン4回目の接種に向けてについて質問。



近藤 純枝（はすだ政和会）  
市民目線の防災について

**問** 防災倉庫の管理体制は。

**答** 鍵の管理は、公共施設等管理者および危機管理課で保管しています。災害発生直後は情報班班員が鍵を所有しています。



市役所の防災倉庫

**問** 自主防災補助金の用途として、備蓄食料費に使えないか。

**答** 近隣市町の状況を確認し、補助の必要性や有効性を検証していきます。

**問** 防災無線に代わる災害時の周知方法は。

**答** 多くの電話に対し、あらかじめ登録された電話番号に一斉送信するシステムを導入している自治体もあります。今後確実に情報伝達を行えるよう新たな情報手段について研究していきます。

**通学路について**

**問** 蓮田南小学校区の現状は。ねがやど保育園から慶福寺の間に横断歩道の設置と速度制限の要望については。

**答** 岩槻警察署に要望を提出しています。

**問** 黒浜小学校区の現状は。

**答** 通学路である市道1343号線は幅員が狭く、雨水の排水ができない状況で、拡幅の線形を決めるまでには至らず事業が中断した状況になっています。改めて、代表の方と話をさせていただきたいと考えています。

**問** 蓮田北小学校区の現状は。

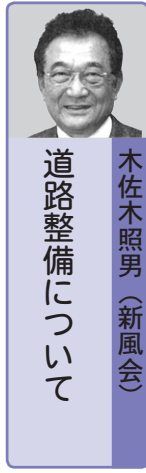
**答** 市道411号線は大雨時には水はけの悪い箇所があります。早急に必要経費を算出し、工事を行いたいと考えています。

**問** 学校応援団の登下校見守りについて、地位の確立・全員保険加入・統一した服装道具・周知が必要と考えるが、現状は。



**答** 子供たちの安心安全な登下校の見守りができるよう、PTAやボランティア、学校応援団の方々の協力をお願いしています。

※ほかに、ウクライナ避難民への蓮田市の対応について、中学校の運動部活動の地域移行について、公共交通について（JR蓮田駅西口を起点として、JR白岡駅西口を経由して白岡中央病院を終点とする新たな路線バスの開通について）、社会福祉協議会の市役所敷地内への移設について質問。



木佐木照男（新風会）  
道路整備について

**市道15線の舗装修繕について**

**問** 駒崎地内の現地調査の状況は。

**答** 現地調査を行った結果、修繕箇所の総メーターは約100mとなります。早急に必要経費を算出して、速やかに工事を発注しなければならぬと考えています。

**市道355号線の道路改良について**

**問** 地権者に対する説明内容は。

**答** 線形説明会では、①道路改良事業の流れ、②用地買収や物件補償費の積算、③線形案概要等の説明をさせて頂きました。

**問** 今後の方向性は。

**答** まずは線形決定をさせて頂きたいと考えています。線形決定後に用地買収、物件補償、詳細設計、工事となります。

**立地適正化計画のコンパクトシティについて**

**問** なぜ必要か。

**答** 今後、人口の減少が想定される中、都市のコンパクト化を目指すことにより、居住や都市機能の集積による生活サービスの維持やサービス産業の生産性の向上、地域に暮らす高齢者の外出機会の向上による健康の増進、公共施設やインフラの集約による行政コストの縮減、環境負荷や激甚災害に対するリスクの低減といった、現代の都市が抱える諸課題を解決する方策の一つとして取り組みを国から積極的に求められています。

**問** 居住誘導区域内の人口、世帯数は。

**答** 人口約4万2000人、世帯数は1万8000世帯です。

**問** 地域にもたらす影響は。

**答** 居住や都市機能を緩やかに各区域の内へと誘導していくこととする計画で、短期的に地域に影響をもたらすものではありません。

**6月定例会傍聴状況**

月 日	会 議	人数
6 / 15	本会議(開 会)	18
6 / 21	本会議(議案質疑)	0
6 / 22	委員会(総 務)	2
6 / 23	委員会(民生文教)	10
6 / 24	委員会(建設経済)	2
6 / 28	本会議(一般質問)	6
6 / 29	本会議(一般質問)	6
6 / 30	本会議(一般質問)	17
7 / 7	本会議(閉 会)	1
合 計		62 <sup>人</sup>

9月定例会は  
**8月30日(火)**  
開会の予定です



ホームページで  
会議録が閲覧  
できます



<https://www.city.hasuda.saitama.jp/>

議案の審議内容や一般質問などを詳しくお知りになりたい場合は、市議会会議録がホームページでご覧いただけます。  
これまで市役所などの公共施設に備えてあった会議録は、今までと同様に次の施設でご覧いただけます。

- 市役所行政資料コーナー
- コミュニティセンター
- 農業者トレーニングセンター
- 図書館
- 中央公民館及び関山分館
- 勤労青少年ホーム
- 蓮田駅西口行政センター